

さいたま赤十字病院にて先天性心疾患でご加療中の方へ

さいたま赤十字病院 循環器内科では、心臓・血管・血圧などのご病気の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っております。このような研究活動の基礎となるのが、実際に当院を受診された患者様の診療録（カルテ）の情報です。患者様の診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に循環器内科を受診された患者様を対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者様の診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

【研究課題】

日本における成人先天性心疾患患者の通院状況に関する調査（多施設共同後ろ向き観察研究）（管理番号 25-BG）

【代表機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる代表の研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

代表研究機関 東京大学大学院医学系研究科・小児科 循環器内科（主任研究施設）

研究責任者 犬塚 亮 小児科 准教授

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 添付資料をご参照ください。

担当業務 データ収集・匿名化

【研究期間】

2026年3月2日（研究実施許可日）から 2030年 5月 7日

【対象となる方】

2012年1月1日から2030年3月31日までにさいたま赤十字病院 循環器内科を受診された15歳以上の先天性心疾患の患者さんの診療録を研究の対象といたします。

【研究の目的】

全国の主要施設でフォローされている先天性心疾患を有する成人患者の人数と特徴を把握することです。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、さいたま赤十字病院院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている診断名、治療状況、合併症などの情報を収集して行う研究です。全国から収集した情報は東京大学医学部附属病院内において解析を実施します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所の個人情報を削り生年月日は生年月に変換し、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、循環器内科医局において当院責任医師の松村穰が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記のお問い合わせ先に2030年4月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または下記研究責任医師へお尋ねください。

2026年3月

【問い合わせ先】

さいたま赤十字病院 循環器内科 松村 穰（研究責任医師）

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5

電話：048-852-1111（代表）